

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果について

R3.8.31 秋田県教育委員会

概 観

○平成19年度の調査開始以来、連続して良好な状況にある。

- ・各教科の平均正答率は、小・中学校ともに、全国の平均正答率を上回っている。
- ・児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の多くの質問項目で、肯定的な回答の割合が全国平均を上回っている。

各教科の良好な状況に加え、児童生徒及び学校に対する質問紙調査の結果には、児童生徒が望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けている状況が表れている。今年度の調査では、新型コロナウイルス感染症の影響に関する質問が出されたが、全国と比較して、安定した学習活動や学校生活を送ることができていると感じている児童生徒が多い。このような状況は、“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”に示している本県の優れた教育環境によるものであり、学校、家庭、地域、大学等が手を携え、オール秋田で成し遂げられたものであると捉えている。

“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”にみる秋田の優れた教育環境

- ・児童生徒の望ましい生活習慣・学習習慣
- ・各学校における児童生徒一人一人へのきめ細かな指導と授業改善への取組
- ・学校と家庭、地域との連携・協働による質の高い教育力

○県教育委員会では、今年度を含めた計13回の調査結果により、これまで行ってきた施策・事業について一定の評価ができると考えている。特に、少人数学習推進事業、県独自の学習状況調査、各校が共同研究体制のもと実施している授業改善の取組等は、大きな成果を上げているものと考えている。

○今後も、教育関係者はもとより、県民の皆様の御理解と御協力をいただきながら、オール秋田で「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指し、「教育立県あきた」の実現に努めていく。

調査結果の活用

○今後、各学校においては、提供された自校の結果を基に、成果と課題を明らかにし、改善に向けた取組を進めていくことになる。県教育委員会では、各学校に調査の結果を有効に活用してもらうため、検証改善委員会を立ち上げ、これまでの課題の改善状況や今年度の結果から明らかになった課題等について詳細な分析を進めることにしている。

○これまでどおり、国と県の学力調査と高校入試を一体として捉えた本県独自の検証改善サイクルの機能を重視していく。具体的には、全国学力・学習状況調査で課題が見られた問題について、課題改善サポート問題を作成し、各学校の課題解決を支援していく。また、県学習状況調査でも課題の改善状況を把握する。高校入試においても、思考力・判断力・表現力等を用いて解決する問題を出題するなどし、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成に努めるようにする。

教科に関する調査の結果

◆概要

- 本県の平均正答率は、小・中学校ともに全ての教科において全国平均を上回っており、良好な状況である。
- 小・中学校ともに、ほぼ全て（小：90.0%、中：100%）の問題において、本県の平均正答率は全国平均を上回っている。
- 小・中学校ともに、全ての問題の無解答率は全国平均以下になっている。
- 正答数分布については、正答数の少ない層の割合が全国に比べて低い傾向が見られる。（p 3～4参照）
- 正答率が十分ではない問題については、指導の改善・充実を図り、学習内容を定着させていく必要がある。

◆平均正答率 [%]

※（ ）内の数値は全国比

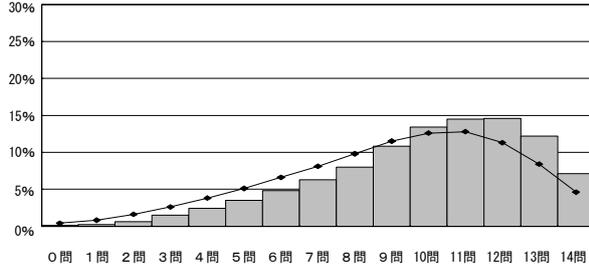
年度	小学校6年生			中学校3年生							
	国語	算数	理科	国語	数学	理科	英語				
R3	71 (+6)	72 (+2)		68 (+3)	60 (+3)						
H31 (R1)	74 (+10)	70 (+3)		78 (+5)	65 (+5)		57 (+1)				
	国語A (知識)	国語B (活用)	算数A (知識)	算数B (活用)	理科	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)	理科	
H30	77 (+6)	61 (+6)	67 (+3)	57 (+5)	66 (+6)	80 (+4)	66 (+5)	70 (+4)	51 (+4)	70 (+4)	
H29	80 (+5)	64 (+6)	84 (+5)	50 (+4)		82 (+5)	78 (+6)	68 (+3)	52 (+4)		
H28	77 (+4)	64 (+6)	82 (+4)	52 (+5)		79 (+3)	72 (+5)	67 (+5)	48 (+4)		
H27	76.0 (+6.0)	76.4 (+11.0)	81.2 (+6.0)	51.5 (+6.5)	66.7 (+5.9)	80.8 (+5.0)	70.7 (+4.9)	68.4 (+4.0)	46.9 (+5.3)	59.6 (+6.6)	
H26	77.4 (+4.5)	67.3 (+11.8)	85.1 (+7.0)	66.2 (+8.0)		84.4 (+5.0)	55.8 (+4.8)	73.0 (+5.6)	65.5 (+5.7)		
H25	71.7 (+9.0)	59.1 (+9.7)	82.8 (+5.6)	67.1 (+8.7)		81.9 (+5.5)	74.6 (+7.2)	68.9 (+5.2)	47.5 (+6.0)		
H24	86.9 (+5.3)	63.0 (+7.4)	79.5 (+6.2)	64.0 (+5.1)	68.4 (+7.5)	79.7 (+4.6)	70.3 (+7.0)	67.4 (+5.3)	56.7 (+7.4)	56.1 (+5.1)	
H22	89.3 (+6.0)	84.8 (+7.0)	83.2 (+9.0)	59.0 (+9.7)		79.8 (+4.7)	71.7 (+6.4)	70.8 (+6.2)	50.0 (+6.7)		
H21	75.3 (+5.4)	60.4 (+9.9)	86.2 (+7.5)	63.7 (+8.9)		82.3 (+5.3)	81.8 (+7.3)	68.8 (+6.1)	63.4 (+6.5)		
H20	74.4 (+9.0)	62.9 (+12.4)	80.7 (+8.5)	58.9 (+7.3)		78.6 (+5.0)	66.8 (+6.0)	70.1 (+7.0)	54.7 (+5.5)		
H19	86.1 (+4.4)	69.0 (+7.0)	88.4 (+6.3)	68.6 (+5.0)		85.4 (+3.8)	77.0 (+5.0)	77.5 (+5.6)	65.3 (+4.7)		

- * 各教科の平均正答率は、当該教科における設問ごとの正答率の平均として求めた値と同じといえます。
- * 令和2年度調査は、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、実施されませんでした。
- * 平成31年度（令和元年度）から、従来のA問題（知識）とB問題（活用）を一体的に問う調査問題で実施されています。
- * 平成31年度（令和元年度）の中学校英語の調査結果は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」を集計したものです。
- * 全国比は、文部科学省が公表した全国平均正答率を四捨五入し、整数値として算出しています。
- * 都道府県別の平均正答率は、文部科学省が平成28年度から整数で公表しています。
- * 平成22年度、平成24年度の平均正答率については、文部科学省から抽出調査における誤差も含めた「平均正答率の95%信頼区間」が公表されており、その区間の中央値を示しています。

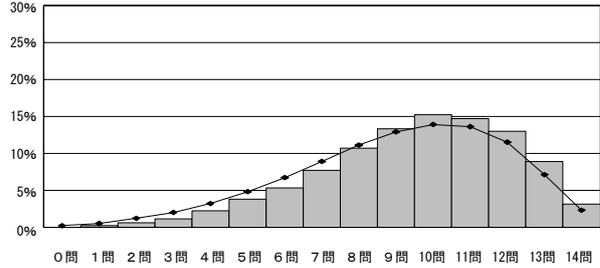
各教科の成果と課題

【国語】 棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）

＜小学校＞



＜中学校＞



◇平均正答率 [%]

※（ ）内の数値は全国比

		全体	学習指導要領の内容				問題形式		
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			選択式	短答式	記述式
			(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	A話すこと・聞くこと	B書くこと	C読むこと			
小学校	秋田県	71	75.1	82.6	69.4	51.8	77.2	76.9	48.3
	全国	64.7	(+6.8)	(+4.8)	(+8.7)	(+4.6)	(+5.5)	(+6.3)	(+8.1)

		全体	学習指導要領の領域等				問題形式		
			話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項	選択式	短答式	記述式
			中学校	秋田県	68	82.4			
	全国	64.6	(+2.6)	(+4.0)	(+3.7)	(+3.5)	(+3.2)	(+2.8)	(+4.6)

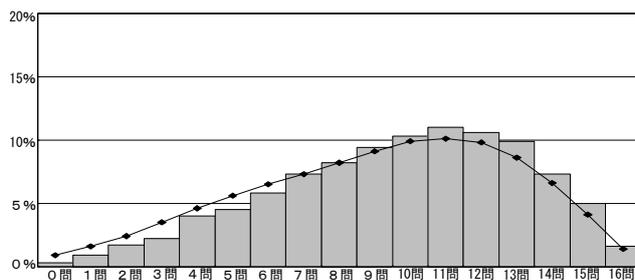
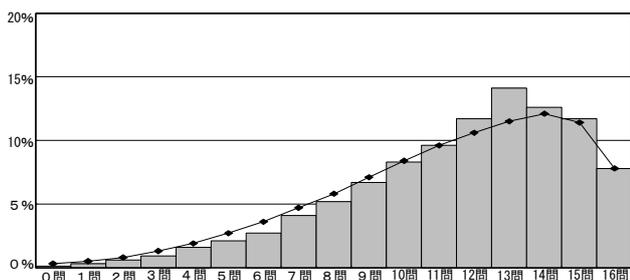
中学校の「学習指導要領の領域等」は中学校学習指導要領（平成20年3月告示）に基づいて示されている

- 平均正答率は、小学校で6ポイント程度、中学校で3ポイント程度、全国平均を上回っている。
- 小学校では、「B書くこと」において8ポイント以上、全国平均を上回っている。中学校では、「書くこと」において4ポイント以上、全国平均を上回っている。
- 小学校では、目的に応じて文章と図とを結び付けて読んで必要な情報を見付けることや、文章から中心となる語や文を見付けて要約することに課題が見られる。
- 中学校では、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して意見文を推敲することや、登場人物のものの見方や考え方を捉え、それについての自分の考えを文章の表現を引用して書くことに課題が見られる。

●指導の改善が求められる問題

	問題番号	平均正答率(%)		問題の概要	出題の趣旨
		秋田県	全国		
小学校	2三	41.9	34.4	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く。	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける。
	2四	34.0	29.7	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが、国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く。	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。
中学校	2一	28.3	24.8	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する。	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。
	3四	27.2	20.5	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ。

【算数・数学】 棒グラフ：秋田県、折れ線グラフ：全国（横軸は正答数、縦軸は児童生徒の人数の割合）
 <小学校> <中学校>



◇平均正答率 [%]

※ () 内の数値は全国比

	全体	学習指導要領の領域					問題形式			
		A数と計算	B図形	C測定	C変化と関係	Dデータの活用	選択式	短答式	記述式	
小学校	秋田県	72	68.1	57.0	77.5	75.7	79.0	77.0	76.6	58.8
	全国	70.2	(+5.0)	(-0.9)	(+2.7)	(-0.2)	(+3.0)	(+1.0)	(+0.8)	(+5.8)
	全体	学習指導要領の領域				問題形式				
		数と式	図形	関数	資料の活用	選択式	短答式	記述式		
中学校	秋田県	60	68.1	53.8	61.8	56.6	55.9	73.9	38.3	
	全国	57.2	(+3.2)	(+2.4)	(+5.4)	(+2.8)	(+3.5)	(+3.4)	(+3.3)	

中学校の「学習指導要領の領域」は中学校学習指導要領（平成20年3月告示）に基づいて示されている

- 平均正答率は、小学校で2ポイント程度、中学校で3ポイント程度、全国平均を上回っている。
- 小学校では、「A数と計算」の領域において5ポイント以上、全国平均を上回っている。中学校では、「関数」の領域において5ポイント以上、全国平均を上回っている。
- 小学校では、示された除法の式の意味は理解しているが、求めた商の意味を理解することに課題が見られる。また、三角形の面積の求め方について理解することに課題が見られる。
- 中学校では、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することや、ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することに課題が見られる。

●指導の改善が求められる問題

	問題番号	平均正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		秋田県	全国		
小学校	① (3)	53.1	55.8	⑦と①の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ。	速さを求める除法の式と商の意味を理解している。
	② (1)	52.2	55.1	直角三角形の面積を求める式と答えを書く。	三角形の面積の求め方について理解している。
	② (2)	71.9	72.5	直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ。	複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べることができる。
中学校	⑥ (3)	33.1	30.3	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する。	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる。
	⑧ (3)	13.4	11.1	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
	⑨ (3)	30.0	28.8	∠ARGや∠ASGの大きさについていつでもいえることを書く。	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見いだし、それを数学的に表現することができる。

児童生徒質問紙調査の結果

※数値は「している」「どちらかといえば、している」等、肯定的な回答の割合（%）
 （ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合（%）

【生活習慣】

○全体として、望ましい生活習慣が定着していると考えられる。

質問事項	小学校6年生		中学校3年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
朝食を毎日食べていますか。	96.1 (88.2)	+ 1.2 (+ 2.4)	95.7 (86.3)	+ 2.9 (+ 4.5)
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	93.9 (62.7)	+ 3.5 (+ 7.7)	94.1 (64.5)	+ 1.4 (+ 6.9)

【学習習慣】

○家庭学習に主体的に取り組むなど、望ましい学習習慣が定着していると考えられる。

質問事項	小学校6年生		中学校3年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	89.0 (52.4)	+15.0 (+21.2)	74.8 (30.0)	+11.3 (+10.6)
学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。	(30分以上) 95.7	+ 8.7	(1時間以上) 81.7	+ 5.8

【豊かな人間性等】

○自己肯定感や他の人を思いやる心が醸成されている様子がうかがえる。
 ○地域に対する関心と地域に関わろうとする意欲があることがうかがえる。

質問事項	小学校6年生		中学校3年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
自分には、よいところがあると思いますか。	84.0 (43.9)	+ 7.1 (+ 7.7)	82.9 (39.6)	+ 6.7 (+ 5.1)
人が困っているときは、進んで助けていますか。	92.5 (51.6)	+ 3.8 (+ 8.0)	92.3 (50.4)	+ 3.8 (+ 8.8)
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。	67.5 (28.8)	+15.1 (+11.0)	62.7 (21.8)	+18.9 (+ 9.2)

【新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目】

○新型コロナウイルス感染症の影響下において、不安を感じながらも、規則正しく生活し、計画的に学習に取り組んでいたことがうかがえる。

質問事項	小学校6年生		中学校3年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	61.7 (36.2)	+ 6.5 (+ 6.4)	64.4 (35.9)	+ 1.6 (+ 1.3)
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。	78.2 (43.1)	+13.6 (+13.3)	46.2 (14.5)	+ 8.6 (+ 3.2)
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。	72.6 (40.0)	+ 9.5 (+ 8.4)	56.2 (26.1)	+ 7.8 (+ 4.2)

【授業等の教育活動】

- 課題解決に向けて、児童生徒が、自ら考え主体的に活動に取り組むことや、話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている。
- 算数（数学）の授業では、児童生徒が授業等で身に付けた知識・技能等を普段の生活の中で活用しようとしていることがうかがえる。
- 国語の授業では、自分の考えを理由との関係が分かるように書いたり、表現を工夫して書いたりする学習経験を積み重ねており、全ての教科等の学習の基盤となる言語能力の向上につながっている。
- 英語の授業では、目的や場面、状況等に応じて、自分の考えや気持ちを英語で話したり書いたりして表現するなど、主体的にコミュニケーションを図っている。
- 道徳の授業では、考え議論する活動が取り入れられている。

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合（％）
 （ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合（％）

質 問 事 項	小学校 6 年生		中学校 3 年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
前学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	86.5 (40.9)	+ 8.3 (+10.6)	87.8 (40.7)	+ 6.8 (+ 7.2)
学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	86.7 (43.7)	+ 7.9 (+10.7)	87.2 (46.5)	+ 9.4 (+12.6)
算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	83.8 (51.7)	+ 9.9 (+12.4)	63.6 (27.9)	+13.0 (+ 8.2)
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。	82.6 (36.3)	+11.0 (+10.0)		
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか。			84.3 (37.9)	+ 9.7 (+ 9.3)
前学年までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。	84.4 (49.4)	+ 9.8 (+10.2)		
前学年までに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。			79.0 (42.9)	+11.3 (+12.4)
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	90.4 (60.4)	+ 9.3 (+14.8)	94.2 (65.6)	+ 8.0 (+16.8)

【ICTを活用した学習状況】

- ICT機器の活用頻度については小・中学生ともに全国を下回っているが、ほとんどの児童生徒が学習の中でICTが役立つと考えていることがうかがえる。

質 問 事 項	小学校 6 年生		中学校 3 年生	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達（生徒）と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。	（週1回以上） 29.3		（週1回以上） 29.4	
学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	96.3 (74.9)	+ 1.8 (+ 8.8)	96.0 (70.6)	+ 2.8 (+10.2)

学校質問紙調査の結果

【授業等の教育活動】

- 地域に根ざしたキャリア教育の取組を通して、児童生徒が自分の将来の姿を意識できるようにしている。
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けて学習過程を工夫し、問題解決のプロセスを重視した探究型授業の充実を図っている。
- 各教科等で身に付けたことを、ほかの教科の学習や日常生活などでも意図的に使う機会を設けることで、生きて働く知識等の定着につなげている。
- 昨年度より外国語科が導入された小学校においても、英語の指導に当たっては、自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動に、積極的に取り組んでいる。
- 家庭学習の取り組み方の指導について、肯定的な回答のうち「よく行った」と回答した学校の割合が全国平均を大きく上回っており、学校全体での具体的な指導を通して習慣化につなげている。

※数値は「よく行った」「どちらかといえば、行った」等、肯定的な回答の割合（％）
 （ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「よく行った」等と回答した割合（％）

質問事項	小学校		中学校	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか。	92.8 (33.1)	+ 7.5 (+12.8)	99.1 (52.3)	+ 1.2 (+ 2.7)
前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか。	91.1 (25.4)	+ 3.0 (+ 4.2)	95.4 (22.0)	+ 8.5 (+ 2.4)
前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか。	89.5 (19.3)	+ 8.1 (+ 2.8)	81.6 (7.3)	+ 9.0 (- 5.0)
国語の指導として、前年度までに、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行いましたか。	97.2 (31.5)	+ 3.3 (+ 0.9)	98.2 (42.2)	+ 5.5 (+ 6.3)
算数・数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか。	90.6 (18.2)	+ 8.4 (+ 1.0)	89.9 (17.4)	+11.8 (+ 1.4)
英語の指導に当たって、前年度までに、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか。	95.6 (52.5)	+ 2.1 (+ 7.1)		
英語の指導に当たって、前年度までに、英語で話したり書いたりして、生徒自身が互いの考えや考えや気持ちを伝え合う（対話的な）活動に取り組みましたか。			99.1 (52.3)	+ 5.8 (+ 7.3)
前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。	97.2 (70.7)	+ 6.6 (+30.1)	94.5 (56.0)	+ 9.0 (+22.0)
前年度までに、家庭学習の取組として、学校では児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。	98.9 (71.3)	+ 3.4 (+25.0)	99.1 (62.4)	+ 7.2 (+25.4)

【ICTを活用した学習状況】

- ICT機器の準備や、使い方を学ぶために必要な研修機会は整いつつあるが、授業の中でICT機器を活用した場面の設定に課題が見られる。

質問事項	小学校		中学校	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか。	82.9 (18.8)	- 7.5 (-17.1)	81.6 (22.9)	- 7.0 (-12.4)
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。	74.5 (19.3)	-10.3 (-15.6)	67.0 (21.1)	-11.4 (-10.5)
次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか。 ・教職員と児童生徒がやりとりする場面	25.5 (1.7)	-19.2 (- 8.9)	21.1 (0.9)	-20.4 (-10.3)
次のようなコンピュータなどのICT機器を活用した取組をどの程度行っていますか。 ・児童生徒同士がやりとりする場面	15.5 (0.6)	-14.6 (- 4.6)	16.5 (1.8)	- 9.3 (- 3.7)

【新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大後も、教員と児童生徒の関係は安定しており、児童生徒は規則正しい生活を心がけ、精神的に安定した生活を送ることができていたことがうかがえる。

質問事項	小学校		中学校	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して、どのような変化があったと思いますか。 ・教員と児童生徒の関係	(変わらない) 89.5 + 6.7		(変わらない) 86.2 + 6.1	
新型コロナウイルス感染症の影響前(令和2年3月以前)と現在(令和3年5月)とを比較して児童生徒からの相談内容に変化があったのはどれですか。 (複数選択)	(生活リズムの乱れに関する相談が増えた) 19.3 -20.6		(生活リズムの乱れに関する相談が増えた) 35.8 -11.2	
	(特になし) 67.4 +34.6		(特になし) 44.0 +20.0	

全国学力・学習状況調査結果の活用

◆概要

- 全国学力・学習状況調査の問題を、授業での課題や児童生徒への家庭学習等の課題の参考として活用したり、独自の教材を教員が作成する際の参考として活用したりしている学校の割合が、全国に比べて高い。
- ほとんどの学校が、全国学力・学習状況調査の結果から明らかとなった課題を中心として校内研修を実施し、自校における授業改善の取組の推進につなげている。
- 全国学力・学習状況調査の結果を県独自の学力調査の結果と併せて分析し、指導の改善等に活用していることについて、肯定的な回答のうち「よく行った」と回答した学校の割合が全国平均を大きく上回っており、学力向上に向けた検証改善サイクルの機能を効果的に生かしている状況が見られる。

◎学校質問紙調査結果より

※数値は「はい」と回答した割合（％）

質問事項		小学校		中学校	
		秋田県	全国比	秋田県	全国比
全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）を具体的にどのように活用していますか。	⑤学力・学習状況の把握のため、授業の中で取り上げている。	92.3	+14.4	91.7	+14.3
	⑥学力・学習状況の把握のため、児童生徒への家庭学習等の課題の参考としている。	85.6	+15.8	76.1	+11.4
	⑧教員が独自に作成する教材の内容を検討する際に参考としている。	83.4	+17.3	93.6	+12.1
全国学力・学習状況調査の結果を、教育活動の改善のために、具体的にどのように活用していますか。	②学校が実施する学力・学習状況調査等、他の調査結果を組み合わせた分析を行っている。	87.8	+12.1	91.7	+18.5
	⑤学力向上等の施策の成果・課題、費用対効果等の評価に活用している。	74.6	+7.6	75.2	+15.0
	⑦課題が見られた点を中心として校内研修を実施し、授業改善に活用している。	95.6	+7.9	93.6	+17.4

※数値は「よく行った」「どちらかといえば、行った」等、肯定的な回答の割合（％）
 （ ）内の数値は、肯定的な回答のうち「よく行った」等と回答した割合（％）

質問事項	小学校		中学校	
	秋田県	全国比	秋田県	全国比
平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。	97.3 (30.4)	+5.2 (+4.9)	99.1 (21.1)	+11.4 (+0.8)
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか。	98.9 (52.5)	+10.2 (+21.5)	100.0 (45.0)	+14.2 (+20.1)

○県教育委員会では、調査を有効に活用し、全国学力・学習状況調査、県学習状況調査及び高校入試を一体として捉えた検証改善サイクルを機能させることで、確かな学力を身に付けた児童生徒の育成に向けた各学校の取組を支援しています。

県教育委員会の取組

☆学力向上関連事業等

◆これまでの主な事業等

- 少人数学習推進事業 [少人数学級、ティーム・ティーチング等による少人数授業] (H13～)
- 学習状況調査事業 (H14～)
- 教育専門監の配置 (H17～、義務教育課はH18～)
- 秋田わか杉っ子 学びの十か条 (H20～)
- 秋田わか杉 七つの「はぐくみ」 (H27～)
- 算数・数学学力向上推進事業 (H17～22)
- 学力向上推進事業 (H23～)
- “「問い」を発する子ども”の育成のための指針の作成 (H24)
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善充実事業 (H30、R1)

◆今年度の事業等

- 少人数学習推進事業
 - ・小学校第1学年から中学校第3学年までの全ての学年で少人数学習を実施
- 学力向上推進事業
 - (1) 学習状況調査事業
 - (2) あきたの教育力充実事業
 - ①教科指導CTの活用による指導力向上プロジェクト
 - ②学校訪問指導
 - ③学力向上支援Web・学習ポータルサイト
 - ④理数才能育成プロジェクト ー科学の甲子園ジュニア秋田県大会ー
- ICTを活用した秋田の教育力向上事業
 - (1) ICTを活用した授業改善支援事業
 - (2) 検証改善委員会
 - (3) オンライン・ミーティング
- キャリア教育実践研究事業
 - ・キャリア教育実践研究協議会
- AKITA英語コミュニケーション能力強化事業
 - ・小・中・高の一貫した英語教育の推進により、英語によるコミュニケーション能力の強化を図るとともに、グローバル社会で活躍できる人材を育成する。

資料 1

本県における全国学力・学習状況調査への参加概況

○小学校

- ・参加校数 183校（内訳：市町村立181、特別支援学校1、秋田大学教育文化学部附属1）

※公立の学校のうち、181校が令和3年5月27日に調査を実施

- ・参加児童数（令和3年5月27日に調査を実施した人数）

	公立（人）	秋大附属（人）	計（人）
国語	6,669	90	6,759
算数	6,669	90	6,759

※公立の学校のうち、特別支援学校の児童は1人

○中学校

- ・参加校数 112校（内訳：県立3、市町村立107、特別支援学校1、秋田大学教育文化学部附属1）

※公立の学校のうち、109校が令和3年5月27日に調査を実施

- ・参加生徒数（令和3年5月27日に調査を実施した人数）

	公立（人）	秋大附属（人）	計（人）
国語	6,745	136	6,881
数学	6,739	136	6,875

※公立の学校のうち、特別支援学校の生徒は1人

文部科学省から県教育委員会に提供されている本資料における結果（平均正答率等）は、秋田大学教育文化学部附属小・中学校を除く、公立学校分である。

資料 2



秋田わか杉 七つの「はぐくみ」

- 一 早寝早起き朝ごはん
生活リズムは全ての基本
- 二 元気なあいさつ 明るい返事
規則約束守るわか杉
- 三 読んで話して書いて高める
「問い」を発する思考力
- 四 問題解決 子どもが主体
授業の続きは家庭で学習
- 五 職場体験 インターンシップ
地域で育む子どものキャリア
- 六 学校や地域の話題で語り合い
将来の夢 家族でえがく
- 七 ふるさとを支える自覚と志
みんなのでつくる未来の秋田

※本県の未来を担う子どもたちを「わか杉」と呼んでいます。

“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”の作成の経緯、基本的な考え方

県教育委員会では、平成27年度に“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”を作成いたしました。

全国学力・学習状況調査（文部科学省）において、全国トップレベルを維持している本県の学力やその基盤となる様々な要因については、全国からはもちろんのこと、海外からも注目されることとなりました。

第3期あきたの教育振興に関する基本計画を策定し、「教育立県あきた」の実現を目指す今、児童生徒質問紙調査等から見える児童生徒を主体とした授業づくり、家庭学習の習慣、家庭や地域の教育力等、本県の財産とも言えるオール秋田でつくるすばらしい教育環境を“秋田わか杉 七つの「はぐくみ」”として発信し、「ふるさとを愛し、社会を支える自覚と高い志にあふれる人づくり」を目指したいと考えております。